

CMS機能要件一覧表

<p>≪必須項目≫要件区分が「必須」となっているもの 必須項目は絶対要件であり、本業務の委託費用内で実現可能なこと。 (パッケージ標準、オプション、カスタマイズ等の内容は問わない) ※代替案により実現可能な場合は対応欄に「△」を記入し、備考欄に代替案の実現方法を記入すること。 ※「×」は認められません。</p> <p>≪加点項目≫要件区分が「加点」となっているもの 加点項目は、絶対要件ではなく、以下の3つの区分で、実現可否を記入すること。 ○: 本業務の委託費用内で実現可能な場合(パッケージ標準、オプション、カスタマイズ等の内容は問わない) △: 代替案により本業務の委託費用内で実現可能な場合(備考欄に代替案の実現方法を記入すること) ×: 上記「○」「△」以外の場合(不可能な理由を備考欄に記入すること) ※1つの項目内の要件で、一部のみ「×」となる場合は「×」を記入すること。 ※本業務の委託費用内で提案等がある場合は、備考欄に記入すること。</p>	<p>【評価方法】</p> <p>≪必須項目≫ 「○」・・・評価対象とはしない。 「△」・・・2点</p> <p>≪加点項目≫ 加点(25項目) 「○」・・・4点、「△」・・・2点、「×」・・・0点</p> <p>※「△」の場合は、備考欄に記入された内容について必要に応じて調査を行い、CMS機能として実現可能な代替案に相当するかを判定し加点する。</p>
---	--

1. 基本要件					
			要求区分	対応	備考
基本要件	1-1	導入するCMSは、これまでに人口5万人以上の市、国、都道府県において導入実績がある製品で、かつホスティング環境(またはASP方式)による自治体ホームページへの導入実績もあること。	必須		
	1-2	CMS利用にあたって、各職員のクライアント端末に特別なアプリケーション等をインストールすることなく、ウェブブラウザから利用できること。	必須		
	1-3	各職員のクライアント端末から、Internet Explorer又はMicrosoft Edgeを通して、ID、パスワード認証にてログインできること。	必須		
	1-4	閲覧者のパソコン機種、OS、ブラウザ等の利用環境に影響されることなく、ホームページを閲覧できること。対応ブラウザは、Internet Explorer9、10、11、Microsoft Edge、Firefox、Opera、Safariの最新版で、レイアウトが著しく崩れないように表示できること、また今後登場するブラウザについても可能な限り対応すること。	必須		
	1-5	端末台数やユーザ数、ページ数やテンプレート数の増加により、ライセンス料が変動しないこと。	必須		
	1-6	ユーザ全員に個別のID、パスワード(原則として8桁以上)を付与できること。	必須		
	1-7	データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルは全てスタイルシートで管理すること。	必須		
	1-8	生成されるコンテンツデータ(ページ)については、XHTML1.0 Transitional以上の規格に準拠し、Web標準に配慮した文書構造を持つこと。アクセシビリティツールによる、コンテンツの音声読み上げ機能に対応していること。	必須		
	1-9	UTF-8の文字コードに対応すること。	必須		
	1-10	1つのページ内で複数の言語の記述が可能であること。	必須		
	1-11	WWWサーバーに公開されるファイルは静的なHTMLであること。ただし、イベントカレンダー等で動的に表示させることが望ましいページがある場合は、その限りではない。	必須		
	1-12	閲覧者が画面をA4縦型印刷する際、ブラウザやOSに関わらず内容が損なわれることなく印刷できること。	必須		
デザイン	1-13	サイト全体として、統一化されたページデザインとすること。	必須		
	1-14	トップページ等は、HTMLやCSSの知識がある職員(管理者)レベルで、デザインの軽微な修正ができること。	必須		
	1-15	大規模災害時、選挙、市を挙げてのイベントなどの際に、トップページへ緊急情報を表示する機能を有すること。	必須		
カテゴリ分類	1-16	カテゴリ分類は、想定される閲覧者(例:引越越し・結婚・介護等)にとつての使いやすさを優先し、タイトルを見ただけでカテゴリ内のコンテンツの内容が想像できるようにすること。	必須		
	1-17	カテゴリ分類ごとにカテゴリトップページを作成すること。	必須		
	1-18	カテゴリトップページとは別に、部局ごとに部局トップページを作成すること。	必須		
	1-19	カテゴリトップページとは別に、課室ごとに課室トップページを作成すること。	必須		
	1-20	コンテンツ作成時に、掲載するカテゴリ分類を容易に選択できること。なお、1つのコンテンツページについて複数のカテゴリ分類を登録できること。	必須		
	1-21	作成済みのコンテンツページを、容易に別のカテゴリ分類に移動させられること。	必須		
	1-22	ページごとに付与するカテゴリ分類は異なる視点に基づいた分類属性を付与できること。たとえば、目的別視点と対象別視点など異なる視点の分類に付与できること。	必須		
	1-23	カテゴリ分類は大→中→小カテゴリといった一方通的なものだけでなく、必要に応じて、逆引きもできるよう設定可能であること。(たとえば、「住宅→申請」といった流れだけでなく、「申請→住宅」といった流れも自動で実現できること)	加点		

【別紙1】CMS機能要件一覧表

サブサイト	1-24	サイト全体の階層構造とは異なる独自のメニュー構造(階層構造)を持ったまとまりを、サブサイトとして管理できること。独自のメニュー構造は、カテゴリ分類とは独立して存在すること。	加点		
	1-25	サブサイトは、専用のトップページを有すること。	必須		
	1-26	サブサイトは、当該サブサイト内でのみ通用するカテゴリの階層構造を有すること。また、そのカテゴリは、所管する所属が自由に追加更新できること。	必須		
	1-27	1つのサブサイトは限定された複数の所属で共同管理できること。	必須		

2. ページ作成機能					
			要求レベル	対応レベル	備考
基本的な仕様	2-1	作成者がHTML言語を意識することなくワープロ感覚でコンテンツを作成でき、掲載される画面をイメージできる作成画面であること。	必須		
	2-2	テンプレートを使用することで、専門知識を持たない一般的な職員でも編集ができ、見出しや段落、表等がタグの知識を持たなくても容易にコンテンツに反映できること。	必須		
	2-3	Microsoft Wordと同様のツールバー機能があり、テンプレートを選択することで、統一したデザインのページ作成が可能なこと。	必須		
	2-4	フォーム入力型のテンプレートも利用できること。	必須		
	2-5	ワープロソフトのようなWYSIWYGインターフェースとフォーム入力型インターフェースが、同一のテンプレート内で利用できること。	必須		
	2-6	作成したコンテンツの定位に、ログインしたユーザの担当課情報(課名・電話番号・メールアドレス等)が自動的に記載されること。また、あらかじめ登録してある複数の問い合わせ先が表示でき、任意に選択できること。	必須		
	2-7	コンテンツ作成完了時、必須項目に未入力があった場合、警告を表示しスムーズに修正できること。	必須		
	2-8	ページタイトルの先頭又は末尾に、“洲本市”等の共通の文字列が自動的に挿入されること。	必須		
	2-9	ページのレイアウト及びコンテンツはコピーして再利用ができること。	必須		
	2-10	同じページを更新して再度公開を行う際に、以前公開していたページを前バージョンとして管理できること。バージョンの上限数は特に指定のない限りないものとし、また以前のバージョンを再利用することも可能であること。	必須		
	2-11	ファイルの保存時には、自動的に連番のファイル名が入ること。また、必要に応じて任意のファイル名が指定できること。	必須		
	2-12	コンテンツ、画像、添付ファイルのファイル名が、日本語名等のサーバー上で使用できないものである場合には警告を表示し、スムーズに修正できること。	必須		
	2-13	作成時に操作を誤った場合、その操作の1つ前の状態に戻すことができること。	必須		
	2-14	作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。	必須		
	2-15	検索サイトで上位にコンテンツを表示させる機能(SEO)対策として、検索用キーワードを容易に設定できること。	必須		
	2-16	ページ内に文字列の検索・置換機能があり、容易に文字列の検索・置換ができること。	必須		
	2-17	権限を与えられた作成者は、HTMLのソースコードを直接編集できること。	必須		
	2-18	CMSで作成されたコンテンツを、放送期間等の指定された条件に合わせて、CATV上の文字放送システム及びデータ放送システムと連動し放送できること。(XMLファイルを生成しFTPでCATV文字放送及びデータ放送のサーバに転送する ※XMLの形式は東電池社から指定されたものである)	必須		
他データの流用・表の編集	2-19	Word、Excelデータをコピー&ペーストできること。その際、アプリケーション特有のHTML(CSS)表現を自動的に削除できること。	必須		
	2-20	Word、Excelデータから取り込んだ(もしくはコピー&ペーストした)表は、再編集できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定等が、ソースコードを直接編集することなく容易に操作できること。	必須		
	2-21	表を新規で作成できること。行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定等が、ソースコードを直接編集することなく、容易に操作できること。	必須		
画像	2-22	簡易な操作でクライアント端末やCMSサーバ上にある画像を掲載・参照し、変更できること。	必須		
	2-23	CMSサーバ上に全作成者が共通で使用可能な画像の素材集を設置でき、一覧表示の中から選択して使用できること。また、その素材集は、管理者によって追加、削除が可能なこと。	必須		
	2-24	画像に説明やリンクをつけられること。	必須		

	2-25	画像の代替テキスト(alt属性)の未入力を防ぐために警告が表示されること。	必須		
	2-26	登録できる画像のファイル種別(JPEG、GIF、PNG等)を制限できること。	必須		
	2-27	公開する画像のファイル容量又は画像サイズを制限できること。	必須		
	2-28	制限容量を超えた画像は自動でリサイズ、又は警告を表示できること。	必須		
	2-29	クライアント端末にソフトをインストールすることなく、画像のリサイズ、トリミング、解像度の変更等、画像の編集機能があること。	加点		
	2-30	簡単な操作で画像上の指定された位置に、コピーライトの表示が行えること。	加点		
	2-31	簡単な操作で画面上の指定された位置に、文字の挿入が行えること。挿入できる文字列は、文字の変更、文字サイズの変更、文字色の変更、文字列に影付き等の見やすくするための装飾が行えること。	加点		
	2-32	複数画像のインライン挿入(特定の座標位置ではなく、文字と文字の間に挿入)ができること。また、表示位置、表示サイズの指定が可能であること。	必須		
添付ファイル	2-33	ページにWord、Excel、PDF等の各種文書ファイルをリンクできること。	必須		
	2-34	リンクした文書ファイルの種類(Word、Excel、PDF等)、サイズの表記が自動で挿入されること。	必須		
	2-35	PDFをリンクした場合、Adobe Readerのダウンロードを促す案内が、自動で挿入されること。	必須		
	2-36	ダウンロードファイルのリンクは、任意の場所に表示できること。	必須		
	2-37	ページからリンクする文書ファイル等の種類、容量を統一して制限できること。	必須		
リンク	2-38	内部リンク・外部リンクを容易に設定できること。	必須		
	2-39	内部リンクは、一覧等からリンク先を選択するだけで容易に設定できること。	必須		
	2-40	外部リンクを設定した場合、管理者が定めた任意のルールに基づき、リンク文字列の後ろに「外部リンク」等の文言を自動挿入できること。	必須		
	2-41	リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。	必須		
	2-42	公開前(未承認)のページに対してリンク設定ができること。(新規に作成したコンテンツのアドレスが公開前に確認できること。)	必須		
	2-43	ファイルの格納場所や、ファイル名が変更された場合等、リンクに関わる変更があった場合には、自動的に該当するリンクが修正されること。	必須		
	2-44	コンテンツ公開開始時に、パンくずリスト、指定したカテゴリインデックス、ローカルナビゲーションおよびサイトマップにページタイトルをリンク名としたリンクが自動生成され、公開終了時にそれらが自動削除できること。	必須		
	2-45	内部リンク・外部リンクのリンク切れを一括でチェックでき、一覧として作成者・管理者が確認できること。	加点		
	2-46	内部リンク・外部リンクのリンク切れをページ単位でチェックでき、ページ内のどの部分にリンク切れがあるか視覚化して確認できること。	必須		
アクセシビリティ及びチェック機能	2-47	ページ単位でアクセシビリティ上の問題を総合的にチェックできること。また、問題箇所をプレビューイメージにて明示し、なぜ問題があるのか、どう修正したら良いのかを表示できること。	必須		
	2-48	コンテンツ作成時にアクセシビリティ等に関する項目のチェックを自動で行い、問題がある箇所は警告を表示し、自動変換できること。 ・画像の代替テキストの有無 ・日付、時間などの表記 ・全角英数字、半角カナ使用の有無 ・機種依存文字の使用 ・不要な全角スペース、半角スペースの使用 ・ページタイトルの有無 ・ファイル名の有無	必須		
	2-49	ページタイトル及びファイル名は重複チェックが可能で、必要に応じて重複を許可することができること。	加点		
	2-50	使用が好まれない単語が含まれている場合、管理者が指定する単語に自動変換する機能があること(例:「子供」→「子ども」)。変換対象とする単語は、管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。	必須		
	2-51	使用が好まれない単語の自動変換機能については、コンテンツ内容によってはあえて表記する場合も想定できるため、ページ作成者が変換候補とは異なる文字も使用できること。	必須		
	2-52	画像の代替テキストとしての使用が好まれない単語(例:「写真」、「画像」)が設定されていた場合、警告を表示できること。警告を表示する単語は、管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。	加点		
	2-53	リンクのタイトルテキストとしての使用が好まれない単語(例:「こちら」、「こちらをクリック」)が設定されている場合、警告を表示できること。警告を表示する単語は、管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。	必須		

【別紙1】CMS機能要件一覧表

	2-54	表(テーブル)の構造化チェック、キャプションに指定された文字列のチェックを行えること。	必須		
	2-55	見出しの構造化チェックが行えること(例:見出し1の有無、見出し1、見出し2などの階層構造)。	必須		
	2-56	すべてのページに文字拡大機能を有すること。	必須		
	2-57	すべてのページに文字色・背景色変更機能を有すること。	必須		
	2-58	複数の音声読み上げソフトに対応できるよう、作成されたコンテンツのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述されること。	必須		
	2-59	アクセシビリティチェック時に、読み上げ順を確認できること。	加点		
	2-60	文字色と背景色の組み合わせが、色覚に障害のある人に適切かどうかを確認できること。	必須		
	2-61	コンテンツ一覧画面においてアクセシビリティに違反するコンテンツが一目でわかるよう表示できること。	必須		
地図	2-62	GoogleMapsなどを用いて、地図情報を提供できること。また、住所や施設名等を入力することで簡単に掲載する地図の場所を指定できること。	必須		
	2-63	同一の地図内に、複数の施設が表示できること。また、ジャンル別や地区別に表示が可能なこと。	加点		
動画	2-64	CMSで作成するページ内に、YouTube等の動画配信サイトに掲載した動画を埋め込み再生できること。	必須		
	2-65	様々なサイズやファイル形式で動画の登録・配信が簡単に行えること。ただし、サイズの制限設定があること。	必須		
外部取り込み	2-66	外部で作成されたHTMLファイルや画像ファイルなどを、リンク関係を保持したまま一括でCMSへ取り込めること。	必須		
	2-67	取り込んだファイルは、CMS内で作成するHTMLファイルと同様の操作で再編集できること。	必須		
コンテンツの公開・削除・再利用	2-68	各課室の作成者が公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時にコンテンツの自動更新ができること。	必須		
	2-69	公開期限は、年月日のほかに15分単位で時間指定できること。	必須		
	2-70	公開日時を指定しないコンテンツの場合は、即時公開の設定が容易にできること。	必須		
	2-71	公開期限を無期限とする設定が容易にできること。	必須		
	2-72	すでに公開されているコンテンツを未来の日付で更新する場合は、現在のコンテンツを直接編集し日時設定することで、予定の日時にコンテンツが自動更新されること。	必須		
	2-73	各ページに公開日および最終更新日が自動的に表示されること。ただし、任意の日付に置き換えができること。	必須		
	2-74	ページの公開・更新を行った際、ページが所属するカテゴリ及び課室トップページの内容も自動で更新(タイトルの後ろ等に更新日を自動挿入)されること。	必須		
	2-75	ページを公開サーバから削除する際、ページが所属するカテゴリ及び課室トップページに表示された文章とリンクが自動削除されること。	必須		
	2-76	ページを公開サーバから削除する際、HTMLファイルだけでなく、付属する画像ファイルやPDFファイル等も同時に公開サーバから自動削除できること。	必須		
	2-77	その際、対象の画像やPDF等のファイルが、削除対象ではないページからリンクされた状態にある場合、サーバ上に残せること。	必須		
	2-78	公開が終了したページは再利用できるようにCMSサーバに保存できること。	必須		
	2-79	CMSサーバに保存されているページを一覧から選択・複写し、新規ページを作成できること。	必須		
	2-80	公開が終了したページの一覧を表示でき、一括又は選択してCMSサーバから削除できること。	必須		
プレビュー	2-81	ページの公開イメージを、作成・承認の各段階で容易にプレビューできること。また、プレビュー画面からは、容易な操作で作成画面等に戻れること。	必須		
	2-82	当該ページからリンクをたどる形で、内部リンク先のページも含めて公開時と同じ状態でプレビューできること。	必須		
	2-83	ページ単位で、色に頼った情報提供になっていないかを、プレビューイメージ等にて、視覚的に把握できる機能を有すること。	必須		
	2-84	ページ単位で、画像に頼った情報提供になっていないかを、プレビューイメージ等にて、視覚的に把握できる機能を有すること。	必須		
	2-85	任意の未来日を指定して、その時点でのページおよびサイト全体をプレビューできること。	必須		
	2-86	任意の過去日を指定して、その時点でのページおよびサイト全体をプレビューできること。	加点		
	2-87	携帯電話・スマートフォン版ページ等、他のメディアへの表示もプレビューできること。	必須		

【別紙1】CMS機能要件一覧表

羅列チェック	2-88	リストやリンクの並びすぎをチェックする機能を有すること。	加点		
--------	------	------------------------------	----	--	--

3. 自動更新、自動生成機能					
			要求レベル	対応レベル	備考
新着リンク	3-1	コンテンツ作成時に、指定するページ(トップページ、課室トップページ、カテゴリトップページ等)への新着情報掲載の有無を設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。	必須		
	3-2	新着情報に掲載した情報は、自動的に掲載した日付の降順で表示されること。	必須		
	3-3	新着情報に表示しきれない情報は、新着情報一覧ページに別途表示できること。	必須		
	3-4	トップページの新着情報に表示できる件数、表示順を、管理者が任意に変更できること。	加点		
	3-5	新着情報に表示するタイトルを、コンテンツのタイトルとは別に設定できること。	必須		
	3-6	トップページの新着情報に表示するコンテンツは管理者の承認が必要となるよう、通常とは異なる承認ルートを設定すること。	加点		
ナビゲーション	3-7	すべてのページにトップページへ戻るリンクを設定し、統一した所定の位置に表示すること。	必須		
	3-8	各ページに、ページタイトルを自動的に引用したパンくずリストを自動生成できること。	必須		
	3-9	パンくずリストは、カテゴリ別・所属別等の複数の設定に対応できること。	必須		
	3-10	各ページにグローバルナビゲーション・ローカルナビゲーションを自動生成できること。	必須		
	3-11	サイトマップを自動生成できること。	必須		
	3-12	自動生成されたサイトマップを再編集できること。	必須		
	3-13	Googleにクローラさせるためのサイトマップ用XMLファイルを自動で作成・更新できる機能を有すること。	加点		
	3-14	対象ページが公開された際、ナビゲーションも自動更新され、公開終了時にはそれらを自動的に削除すること。	必須		
RSS	3-15	サイト全体あるいはカテゴリごとの新着情報を、RSSフォーマットで出力できること。	必須		
	3-16	市が指定するページに、洲本市以外からRSSで配信される情報を表示するエリアを設けることができること。	必須		
イベントカレンダー	3-17	各イベント情報の詳細ページにリンクが設定されたイベントカレンダーが自動生成でき、各課室が入力したイベント情報を月ごとに集約表示できること。	必須		
	3-18	コンテンツ作成時にイベントカレンダーへの掲載の有無を容易に設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。	必須		
	3-19	カレンダーの表示方法は、一覧表示、マス目表示、ガントチャート表示といった表示方法を利用者が選択できること。	加点		
	3-20	カレンダーに掲載されている内容を、閲覧者がカテゴリ別に抽出できること。	加点		
レコメンド	3-21	「このページを見た人はこんなページも見ています」といった、お勧めページを自動的に表示できること。	加点		

4. 他のメディア向けサイト					
			要求レベル	対応レベル	備考
携帯用サイト	4-1	PCページを作成した際、同時に携帯ページも自動作成できること。	必須		
	4-2	最低限、主要3キャリア(ドコモ、au、ソフトバンク)の携帯電話に対応すること。	必須		
	4-3	携帯電話の数字キーを用いて移動できるリンクを設定できること。	必須		
	4-4	電話番号に発信できるリンク、メールアドレスにメール送信できるリンクを設定できること。	必須		
	4-5	携帯サイト内の検索機能を有すること。	必須		
スマートフォン用サイト	4-6	PCページを作成した際、同時にスマートフォン端末に対応したページも自動作成できること。	必須		
	4-7	スマートフォンで閲覧する際、最適化されたレイアウトで表示されること。	必須		
	4-8	スマートフォンの利用シーンを想定した、専用のトップページを作成すること。	必須		

5. 管理者の管理機能					
			要求レベル	対応レベル	備考

【別紙1】CMS機能要件一覧表

基本機能	5-1	複数ユーザが同時にログインできること。	必須		
	5-2	各担当者や所属部署により、コンテンツのグループごとに編集権限を設けることができること。	必須		
	5-3	ログインするユーザIDにより、それぞれの権限に応じた画面が表示されること。	必須		
	5-4	ログイン画面上に、CMS利用上の注意等を促すメッセージを掲載できること。	必須		
	5-5	CMS編集画面上に操作マニュアルを表示できること。	必須		
	5-6	作成者は、作成したコンテンツを所属部署ごとに集約して表示できること。	必須		
	5-7	同一ページを同時に別々のユーザが更新できないこと。又は更新しようとする際に警告が表示されること。	必須		
管理者の権限	5-8	管理者は、サイト内の全てのページを編集する権限があること。	必須		
	5-9	管理者は、全てのページを承認ルートによらないで即時公開できる権限があること。また、指定したユーザに即時公開(災害発生時の公開等)の権限を与えられること。	必須		
	5-10	管理者は、CMSに登録されている全ページの情報(ページタイトル、階層構造、ディレクトリ)をCSV等に出力できること。	必須		
	5-11	管理者は、カテゴリの追加・変更・削除、コンテンツの振り分けができること。	必須		
	5-12	管理者は、全てのコンテンツの状態(作成中・承認待ち・公開中・非公開等)を一覧で確認でき、CSV等に出力できること。	必須		
	5-13	ヘッダー・フッター等のサイトの共通部分は、管理者のみが変更できること。	必須		
	5-14	管理者は、入力禁止文字の登録・変更・削除ができること。	必須		
	5-15	管理者は、入力禁止文字が使用されているページを検索できること。また、検索後に置換できること。	必須		
ユーザ管理	5-16	管理者は、ユーザの登録・更新・削除を行えること。また、ユーザの操作権限・ID・パスワード等の管理ができること。	必須		
	5-17	管理者は、登録のユーザ情報をCSV等に出力できること。また、事前にExcel等のデータで作成したCSV等を利用してユーザ情報をCMSに取り込めること。	必須		
	5-18	管理者は、人事異動時に伴うユーザの所属変更を、事前にExcel等のデータで作成したCSV等を利用して簡単に行えること。また、年度末などの指定された日付で変更を適用できること。	必須		
	5-19	管理者は、ユーザの操作履歴(ページの公開・削除、操作日時・操作者・操作ページ・操作内容等)を確認でき、CSV等に出力できること。	必須		
組織管理	5-20	管理者は、組織情報(部署・施設名、問い合わせ先情報等)の管理ができること。	必須		
	5-21	管理者は、登録の組織情報をCSV等に出力できること。また、事前にExcel等のデータで作成したCSV等を利用して組織情報をCMSに取り込み、組織改編等に簡単に対応できること。	加点		
	5-22	管理者は、所属の統廃合・追加・問い合わせ先変更等、組織改編による情報更新を事前に予約でき、年度末などの指定された日付で変更を適用できること。	必須		
	5-23	管理者は、組織改編時にページの移動(所属カテゴリの変更)等が簡単に行えること。	必須		
テンプレート管理	5-24	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。	必須		
	5-25	テンプレートは、HTMLやCSSの知識がある職員(管理者)レベルで、修正、追加、削除ができること。	必須		
	5-26	テンプレートの修正があった場合、該当テンプレートを使用している全てのページを自動更新できること。	必須		
災害管理	5-27	災害や断水等の緊急時、トップページの目立つ位置に災害情報を配信できること。	必須		
	5-28	大規模災害等の緊急時向けトップページのテンプレートを作成すること。	必須		
	5-29	管理者は、簡易な操作で緊急時向けトップページに切り替えられること。	必須		
	5-30	同時にスマートフォントップページ及び携帯サイトトップページも切り替えられること。	必須		
バナー広告	5-31	トップページ・カテゴリトップページ等任意のページの市が指定する位置に、複数のバナー広告を表示できること。	必須		
	5-32	トップページ・カテゴリトップページ等任意のページの市が指定する位置に、ローテーションバナー広告を表示できること。	必須		
	5-33	管理者のみがバナー広告を管理・掲載・削除でき、特別な知識がなくても容易に操作できること。	必須		
	5-34	掲載期間を設定することで、あらかじめ登録しておいたバナー広告を自動的に掲載開始・終了できること。	必須		
	5-35	バナー広告の表示数は、容易に変更できること。	必須		

【別紙1】CMS機能要件一覧表

	5-36	画像データは、JPEG・GIF(透過GIF・アニメーションGIF)・PNG・BMPが使用できること。	必須		
	5-37	画像バナーに限らず、テキストバナーも容易に掲載できること。	必須		
	5-38	バナー広告の空きスペースには、募集中等の代替画像を表示できること。	必須		
	5-39	設置されたバナー広告がどれだけクリックされているかを集計する機能があり、集計された結果をCSV等に出力できること。	必須		
カウントダウン	5-40	イベント等の開催日まであと何日といった表示ができること。また。説明を添えられ、詳細ページへのリンクが貼れること。	加点		

6. 承認ワークフロー

			要求レベル	対応レベル	備考
基本仕様	6-1	作成者から承認者への3段階以上の承認ルートがあること。	必須		
	6-2	管理の対象ごとに異なった承認ルートを設定することができ、上限は設けないこと。	必須		
	6-3	管理者は、承認ルートの変更や追加を容易な操作で行えること。	必須		
	6-4	管理者は、全てのコンテンツの承認状況を確認できること。	必須		
	6-5	承認者は、承認依頼を受けたページに対し、アクセシビリティチェックやプレビューを行えること。	必須		
	6-6	承認依頼時や差し戻し時に、メールによる連絡が送信されること。	必須		
	6-7	作成者・承認者は、所属のコンテンツの承認状況を確認できること。	必須		
	6-8	承認者は、承認依頼を受けたページを差し戻す際、作成者向けにコメントを追記できること。	必須		
代理承認	6-9	承認者が不在の時、代理承認等の手段によってコンテンツが公開できること。	必須		
承認依頼中の修正	6-10	承認依頼中のページを作成者自身がキャンセルし、ページ内容を再編集できること。	必須		
	6-11	承認者は、承認依頼を受けたページを上書き編集できること。	必須		

7. その他の機能

			要求レベル	対応レベル	備考
定型的なページと専用の登録画面	7-1	定型的に情報登録を行うことで、決められた位置に決められた内容の情報が表示されるページを作成管理できること	必須		
	7-2	ページ作成画面においては、あらかじめ登録内容、登録方法が決められた各項目に情報を記入したり選択肢から選択するだけでページが作成されること。	必須		
	7-3	ページ作成画面における登録項目については、管理者が、その登録方法(テキストエリア、ラジオボタン、チェックボックスなど)や必須の設定、登録内容の制限(最大文字数の制限など)を各項目ごとに自由に設定することが可能で、かつ項目数に上限なく追加更新できること。	加点		
	7-4	定型的なページは同時に何種類でも作成管理できること	加点		
	7-5	定型的なページは、それ以外のページ(WYSIWYG機能などで作成したページ)と比べ、カテゴリ分類や特定のページへのリンク掲載などにおいて、全く同様に設定管理できること。	必須		
	7-6	定型的なページはそれ以外のページ(WYSIWYG機能などで作成したページ)と同様に、そのデザインはテンプレート化され、CSSにて定義されること。	必須		
	7-7	定型的なページはそれ以外のページ(WYSIWYG機能などで作成したページ)と同様のルールと機能にて、アクセシビリティ面でのチェックや対応が可能であること。	必須		
	7-8	定型的なページはそれ以外のページ(WYSIWYG機能などで作成したページ)と同様の承認ルート設定が可能であること。	必須		
外国語翻訳	7-9	英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の3カ国以上の言語に対する自動翻訳システムを導入すること。	必須		
	7-10	別に作成した、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語のテキストデータをCMSに取り込んで、正常に表示できること。	必須		
アクセス解析	7-11	ページごとのアクセス件数、検索キーワード等が取得できること。	必須		
	7-12	閲覧者の使用するブラウザ・OS・モニタサイズが集計できること。	必須		
	7-13	閲覧者の接続ポイント(都道府県)が集計できること。	必須		
	7-14	解析結果は、CSVファイル等で保存・出力できること。	必須		

【別紙1】CMS機能要件一覧表

	7-15	庁内LANからのアクセスと外部からのアクセスを区別して集計できること。	必須		
サイト内検索	7-16	キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを全ページに配置すること。	必須		
	7-17	キーワード完全一致の検索だけでなく、表記の違いがあっても検索結果が表示される同義語検索機能が備わっていること。	必須		
	7-18	検索結果のページは、サイト内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダ、フッタを表示させ、閲覧者には、別のサイトに移動してしまったという印象を与えないようにすること。	必須		
問い合わせ	7-19	すべてのページに、そのページに関するSSLに対応した問い合わせフォームを自動で挿入でき、閲覧者が意見・問い合わせ等を簡単に送信できること。	必須		
	7-20	投稿者が送信前に入力内容を容易に確認でき、送信後に自動返信メールが送信できること。	必須		
	7-21	投稿者からの問い合わせに対し、メールで回答できること。	必須		
アンケート	7-22	SSLに対応したアンケートフォームを容易に作成できること。	必須		
	7-23	管理者だけではなく、各所属にてアンケートを作成できること。	必須		
	7-24	同時に複数のアンケートが設定できること。同時に開設できるアンケートページ数に上限がないこと。	必須		
	7-25	アンケートは指定した公開日・削除日に、自動公開・自動削除できること。	必須		
	7-26	各アンケートページの設問数は、上限がないこと。	必須		
	7-27	各設問は、択一方式(ラジオボタン)、複数選択可(チェックボックス)、プルダウンメニュー、自由記入欄のほか、一般的なフォームのスタイルを自由に採用できること。	必須		
	7-28	入力項目には、必須・任意の設定ができること。	必須		
	7-29	作成したアンケートページに、画像の貼り付けや各種ファイル(例:PDF)へのリンク、関連ページへのリンク等の掲載ができること。	必須		
	7-30	アンケート結果を集計する機能があり、途中集計や集計された結果をCSVファイル等で保存・出力できること。	必須		
	7-31	投稿者が送信前に入力内容を容易に確認できること。	必須		
FAQ機能	7-32	テンプレートを用いて、カテゴリ別表示が可能なよくある質問(FAQ)ページを容易に作成・更新・削除できること。	加点		
	7-33	よくある質問(FAQ)には、関連ページへのリンクや問い合わせ先を容易に設定できること。	必須		
	7-34	関連ページや問い合わせ先が変更・移動・削除された場合は、自動で修正できること。	必須		
	7-35	カテゴリによる検索、キーワードによる検索が可能であること。	必須		
デジタルブック	7-36	PCおよびスマートフォンにて再生できるデジタルブック(ページをめくるような操作で閲覧できる、拡大縮小機能を有する)を作成できること。	加点		
	7-37	作成できるデジタルブックの冊数に上限がないこと、追加の費用が発生しないこと。	加点		